

山口情報芸術センター [YCAM] 教育普及プログラム

子どもたちが創造するメディア公園 「コロガルガーデン」

2016年6月18日(土) — 9月4日(日) 10:00—17:00 入場無料
山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ、スタジオB

遊びを起点にアイデアが"コロガル"— 子どもたちが自身が育む学びの場「コロガルガーデン」がオープン！

山口情報芸術センター [YCAM] では、大人気の「コロガル公園シリーズ」の最新バージョン「コロガルガーデン」を発表します。

メディア時代の新しい学びの場を提案するコロガル公園シリーズは、子どもたちが遊びを通じて考え、創造力を育む環境としてデザインされた公園です。2012年にYCAMで登場して以来、大変好評を博する本シリーズは、札幌国際芸術祭「コロガル公園 in ネイチャー」(2014年)や東京・伊勢丹新宿本店「コロガルガーデン for LIL KIDS」(2015年)など、全国各地で開催してきました。

第5弾目となる今回は、去年東京で発表した「コロガルガーデン for LIL KIDS」を元に大幅にアップデートし、YCAMバージョンとして登場。振動に反応して光るブロックや、スピーカーやマイクを埋め込んだ巨大なすべり台が登場するなど、遊びを発想する種がいたるところに散りばめられています。

遊びながら考え、考えながら遊ぶというプロセスを繰り返すことで、思考の柔軟性と創造力が刺激される子どもたちの場が山口に生まれます。この機会にご参加ください。



写真(上)：大小サイズの異なるブロックが点在するスタジオB (2016/YCAM)
写真(下)：巨大なすべり台が特徴的なホワイエ (2016/YCAM)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

当たり前前の「環境」としてのメディア—頭とカラダで体感するメディア公園！



不安定な床面、トンネルや坂道など、建築空間にあらゆる要素が詰め込まれた「コロガル公園」(2012/YCAM)

2012年からスタートしたコロガル公園シリーズは、YCAMの教育普及活動のコンセプトを体現する公園型インスタレーションとして開発しました。

これまでもYCAMの教育普及では、私たちの生活にさまざまなかたちで取り巻くメディア・テクノロジーとの適切な向かい方や、それを応用することによって可能となる表現やコミュニケーションのあり方について、オリジナルワークショップの開発や展覧会のギャラリーツアーなどを通じて紹介してきました。本シリーズは、現代に生きる子どもたちにとっては当たり前となったメディア・テクノロジーを、試行錯誤を繰り返しながら思考できる場として提案し、遊びを通じて自律的な学びを獲得できるプラットフォームとして提供しています。

子どもたちが自発的に遊びを発想し、創造力を育む環境としてのデザインが高い評価を受け、これまでにグッドデザイン賞やキッズデザイン賞を受賞しました。子どもたちがトライアンドエラーを繰り返しながら、自ら遊び場の利用法を考え、実践していくということは、変化の激しい現代社会におけるコミュニティの創造／運営のトレーニングとしても機能し、ここでは遊びだけに留まらず、保守管理もおこなうなど数多くの社会的な営みが生まれています。

■ これまでの「コロガル公園シリーズ」

コロガル公園 (2012年)

会期：2012年5月19日～8月12日
会場：YCAMスタジオB
入場者数：37,170人

コロガルパビリオン (2013年／2014年)

会期：2013年7月26日～12月1日／2014年8月1日～8月31日
会場：山口市中央公園
入場者数：47,077人(2013年)／16,466人(2014年)

コロガル公園 in ネイチャー (2014年)

会期：2014年7月19日～9月28日
会場：札幌市資料館裏庭
入場者数：80,955人(※同会場で開催していた別事業の入場者数も含む)

コロガルガーデン (2015年)

会期：2015年4月29日～5月3日
会場：東京・伊勢丹新宿本店本館6階催事場
入場者数：356人

感覚を研ぎ澄まし、創造力を刺激する—みんなの学び場「コロガルガーデン」



ブロックの周りを縦横無尽に駆け抜ける子どもたちの様子(2016/YCAM)

■ assistant (アシスタント)

2002年に松原慈と有山宙を中心に設立された建築家ユニット。建築、美術、デザインが交わる点に活動の多くがみられる。空間を体験や記憶の総体と捉え、フィジカルな体験に詩的な表現をかけ合わせ、建築の可能性を切り拓く。主な仕事に「ABSENT CITY: 存在しない都市」展(個展/2008年)、「"おいしく、食べる"の科学展」(日本科学未来館/2009年~2010年)、「33年目の家」(2013年)など。

<http://www.withassistant.net>

今回発表する「コロガルガーデン」は、2015年に東京で発表した「コロガルガーデン for LIL KIDS」を大幅にアップデートし、さまざまな機能を追加したYCAMバージョンです。

スタジオBには、大小サイズの異なる17個のブロックが登場。各ブロックには、スピーカーやマイク、振動をキャッチするセンサーなどが埋め込まれています。会場に大きく映しだされる映像は、各ブロックの縁に取り付けたLEDライトに呼応するようにプログラムされ、切り替わる映像に合わせてブロックの光が変化するなど、子どもたちの感性を刺激するさまざまな仕掛けを用意しています。

また、ホワイエには全長約15メートル、高さ3メートルの巨大な滑り台が出現。巨大なすべり台を囲むように、長さや形の異なるラダー(梯子)を設置するなど、性格の異なる2つの機能を有するホワイエは、未就学児からご年配の方まで、幅広い年齢層が楽しむことができるようにデザインされています。設計は、2013年にYCAMが発表した「コロガルパビリオン」でも設計を手がけた建築ユニット「assistant(アシスタント)」が担当。また、シリーズを通して開催する人気イベント「子どもあそびばミーティング」も開催。子どもたちを中心にYCAMスタッフとともにコロガルガーデンに追加したい機能を議論します。採用されたアイデアは、後日新しい機能として会場に追加されます。利用者自身のアイデアによって成長していくコロガルガーデンにも是非ご注目ください。

開催概要

**子どもたちが創造するメディア公園
「コロガルガーデン」**

2016年6月18日(土)ー9月4日(日) 火曜日休館

10:00ー17:00 入場無料

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ、スタジオB

対象：未就学児童～一般 ※未就学児童は要保護者同伴

空間設計：assistant（松原慈+有山宙）

※7月11日(月)ー13日(水)、8月15日(月)ー17日(水)は、関連イベント「子どもあそびばミーティング」に伴うアップデート作業のため、閉場します。

※本展示はお客様の自己責任のもと鑑賞したり、遊んだりする体験型スペースです。入場には自己責任で入場する旨をご承認いただき、安全管理には十分ご注意ください。

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

助成：平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

■ 関連イベント

子どもあそびばミーティング

日時：7月10日(日) 14:00ー15:30

8月14日(日) 14:00ー15:30

参加無料 ※要申込(申込方法は右記参照)

対象：小中学生

定員：各回20名 ※先着順(空きがあれば当日受付可)

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB

利用者とともに、コロガルガーデンの新しい機能を検討するミーティング形式のイベント。

■ 特別イベント

夏休みだよ！夜のコロガルに全員集合！

日時：8月12日(金)～14日(日) 17:30ー22:00

参加無料 ※予約不要

対象：未就学児～一般

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB

期間限定で開放する夜のコロガルガーデン。テクノロジーを駆使したイルミネーションやライブは迫力満点、いつもと一味違ったコロガルガーデンをお見逃しなく。

特別ライブ：コロガルBEAT MIX！

日時：8月13日(土) 17:30ー19:00

出演：^{スツツ}STUTS (トラックメーカー／MPCプレイヤー)**子どもあそびばミーティング
申込方法**

参加を希望するイベント名とその日付・住所・名前(ふりがな)・性別・生年月日・電話番号またはメールアドレスなど連絡先を明記の上、メールまたはYCAM1階チケットインフォメーションにてお申込みください。

メールアドレス：

reserve@ycam.jp

